

安心して過ごすことができる 教室の環境づくり

自分で分かって動けるための工夫
できた！につながる集中しやすい環境

見やすい目の高さ

キャスター付きの低いホワイトボードを使用することで、見やすくなります。



座席の工夫

ホワイトボード、教師の話に集中しやすくなります。

小スペースを利用

隙間空間を上手に利用してドラム積木を収納

かごでスッキリ収納

かごがあれば、水筒の置き場所が分かりやすく、片付けが上手になります。

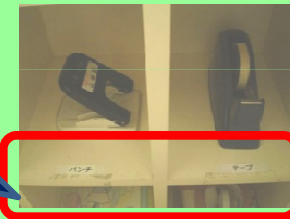


色を使って分かりやすく

色テープが貼ってあると自分のロッカーが分かりやすくなります。
下足箱にも同じ色テープが貼られています。

片付ける場所を明記

どこに何を片付けるか具体的に示してあると、使うときに探しやすく便利です。
スッキリ片付け、教室環境が整います。



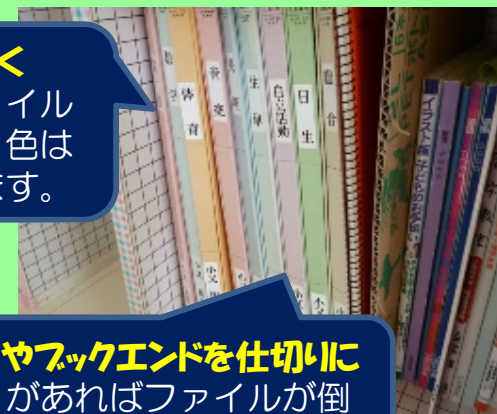
かごを使って分かりやすく

連絡帳や宿題などをどこに提出するのか分かりやすくなります。



色を使って分かりやすく

色を手がかりに教科ファイルを探すこともできます。色は学部全体で統一しています。



動線の工夫

活動の流れに沿って置く場所を考えてあり、無駄な動きが少なくなります。



段ボールやフックエンドを仕切りに

仕切りがあればファイルが倒れず、整理しやすくなります。



安心して過ごすことができる 教室の環境づくり

落ち着いて学習に取り組むための工夫
できた！につながる集中しやすい環境

クールダウンのスペース

リラックスできるスペースがあることで、気持ちを切り替えて次の活動に向かうことができます。



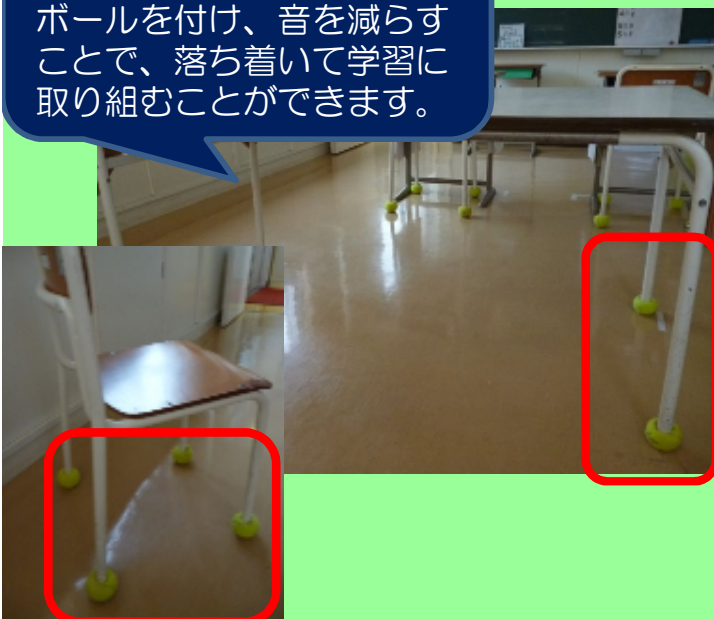
視覚刺激の調整

気になるものを隠すことで、視覚刺激に弱い児童生徒の集中力がUPします。



音刺激の調整

机やいすの脚にテニスボールを付け、音を減らすことで、落ち着いて学習に取り組むことができます。



机の位置に目印テープ

整理整頓がしやすくなり、教室環境が整います。



個別学習スペース

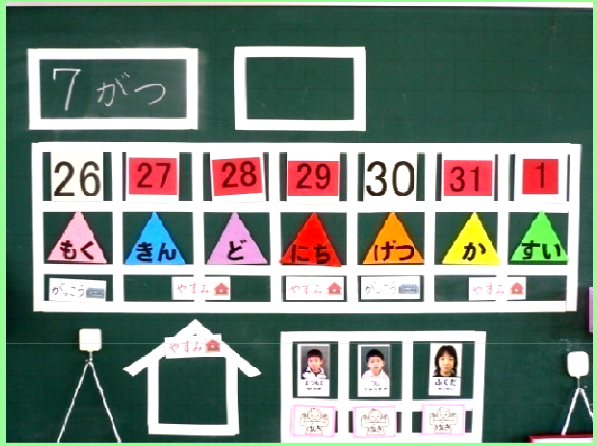
周囲が気になる児童生徒も、壁に向かうことで視覚刺激が減り、集中力がUPします。

安心して過ごすことができる 教室の環境づくり

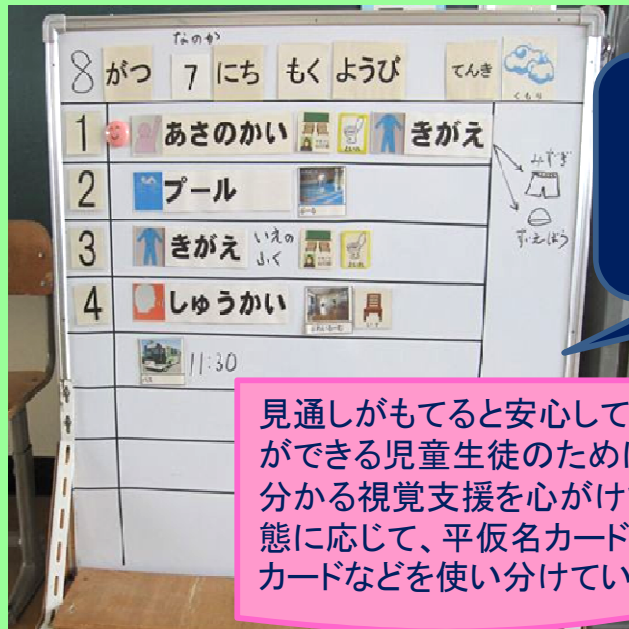
自分で分かって動けるための工夫
見通しをもち、安心して学習に取り組むための工夫

1ヶ月の予定
今日は何日、いつ何がある
が分かり、見通しをもつこと
ができます。

1週間の予定
囲み枠があると、今日は何
が分かりやすくなります。



「見る力」に弱さのある児童生徒
のために、囲み枠やマークを使っ
たり、線や色を工夫したりして、
分かりやすさにも配慮しています。



今日の予定
持ち物や場所が書いて
あり、自分で確認しなが
ら、分かって動くことが
できます。

見通しがもてると安心して学習活動に取り組むこと
ができる児童生徒のために、教師は、見通しが見て
分かる視覚支援を心がけています。児童生徒の実
態に応じて、平仮名カード、漢字カード、イラスト
カードなどを使い分けています。